

## 平成 20 年度 第 1 回 松阪市環境審議会 議事録

日 時 : 平成 20 年 6 月 6 日 (金) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 : 松阪市産業振興センター 小研修室

出席者 : 20 名

審議会委員 14 名

吉田弘一、富田靖男、浅井福美、大橋純郎、鈴木舞子、  
筒井弘佳、西川博明、牧戸継右、山本清巳、石川雅人、  
伊藤眞司、奥西猛、島洋久、前田多香子

事務局 6 名

樋口環境部長、三田環境課長、村田環境保全係長、  
篠原環境推進係長、環境推進係 (大西、小山)

### 〈議 事〉

#### 1. 環境部長挨拶

#### 2. 吉田会長挨拶

#### 3. 自己紹介

#### 4. 環境基本計画の重点事業の目標について

(事務局より説明)

#### 5. 第 1 回松阪市環境保全審議会の報告について

(事務局より 6 月 3 日に開催された「第 1 回松阪市環境保全審議会」について報告)

※ 風力発電について

委 員：環境調査はしたのか？

環境課：これから行う事になっています。

委 員：最初の (計画の) 20 基から 17 基に変更した理由は？

環境課：詳細はわかりませんが、今回の開発面積では 17 基が妥当としたのではないかと推測します。また、進入路の形状によっては今後の変更もありえます。

委員：長崎のジャネックスと、北海道のクリーンエナジーの2社に決めたのは何故か？

環境課：それぞれの事業者が独自の判断により開発を決めたわけで、こちらから募集したわけではありません。

委員：風力発電は落下事故などのリスクが高いが、途中のメンテナンスはどうなっているのか？リスク事項の説明を受けているのか？

環境課：これから松阪市環境保全審議会の中で審議をしていくが、風車の羽根が折れるとか、そういった事故は審議対象にならない。三重大の機械工学の先生も（保全審議会の委員として）みえるので、その辺の指導もあると思います。

委員：では、その環境保全審議会に、（風力発電を）設置した場合の途中経過における進捗状況（のチェック）をお願いしたい。

会長：それは当然のこと。環境課に責任を持って行っていただく。

委員：森林伐採による災害の影響は？また、事業規模 119.85 億円に対し、採算性はどうなのか？それほどの金をかけるほどの事業ではないと思う。

会長：採算性があるから事業化されるわけです。松阪市は（風力発電に対し）遅れている。環境への影響は場所によって異なる。

環境課：環境への影響だが、プラス面としては、この施設は地球温暖化の原因である CO2 を削減することが挙げられます。マイナス面にはバードストライクなどがあるが、そういったものに対しては、環境保全審議会でもより良いものを造ってもらうよう審議途中です。風力発電建設に際し、地元住民に不安を与えることや自然環境に悪影響が出ることを無きよう検証していくのが市としての役割であるので、採算性に関しては事業者にお問い合わせください。

## 6. 環境パートナーシップ会議設立に向けてのマイバッグ持参運動及びレジ袋有料化検討会について

※ 事務局より説明

- ・環境パートナーシップ会議設立の一環として、マイバッグ持参運動を検討。
- ・市民、市民団体、事業者、有識者による検討会の準備会を5月1日に開催。
- ・伊勢市が昨年レジ袋有料化を実施するなど、三重県内でマイバッグ運動の波がきている。
- ・環境基本計画の環境ビジョンのひとつである「もったいない」の精神に基づく活動であると同時に、資源循環推進課の施策と合致する。

- ・以上のことから、マイバッグ持参運動（レジ袋有料化）を実施する。
- ・5月19日に第1回目を開催し、市民・事業者など32名が参加。
- ・6月3日に第2回目を開催し、明和町、多気町、玉城町も参加。広域化を図ることとなった。大台町にも参加を呼びかける予定。
- ・市民への呼びかけを検討中。（ポスター作成・アンケート調査など）

委員：松阪モデルのマイバッグ運動を行うのか？

環境課：伊勢市モデルは、三重県最初の取組みということ。松阪モデルは、松阪だけでなく多気町、玉城町、明和町、大台町といった近隣の町と一緒に同時に行うということ。

委員：環境教育はどのように考えているのか？学校、自治会などでの啓発も視野に入れているのか？

環境課：昨年9月にできた環境基本計画を市民に普及させていく方法として、環境パートナーシップ会議を立ち上げることになり取り組んでいたところ、環境パートナーシップ会議準備会の中で伊勢市のレジ袋有料化の話が出て、松阪市も取り組むべきだということになった。本来ならば、環境パートナーシップ会議を立ち上げてからだが、今回このマイバッグ運動が先に動くことになった。環境教育だが、夏休みにネイチャーマップを使った小学生の親子自然体験教室を計画している。

委員：三重大、三重中京大学、皇學館大学、四日市大学などといった学生の力を利用する考えはあるのか？

環境課：三重中京大学には環境分野に精通した教授がいっぱいじゃない。大学は地元以外の学生が多く、卒業後松阪に残る人ばかりではないため、我々は松阪市の環境に活躍してもらえる人を考えているので、大学生にお願いするという答えは現時点では出ていない。

委員：三重中京大学短期大学部には環境に対する意識が高い学生が多く、ボランティアにも熱心に取り組んでいる。専門家はいないが、参加できるのであれば、是非とも参加したい。

会長：三重中京大学には、環境保全審議会のメンバーがいるはず。また、以前は環境クラブというものもあった。いろんな方の力添えもいただいて、市民全体を巻き込んだ活動にしていきたい。

委員：庁内にはいろんな会議に三重中京大学の先生がたくさん関与しているので、その方達に声をかければ大学の協力が得やすいと思う。まずは庁内の大学関係者をリストアップし、そこから当たっていくべきだと思う。

委員：第三小学校では学校環境 I S O を取得し、エコ活動も盛んに行っている。子供たちの環境に対する関心も高いので、環境活動に参加できればと思う。

委員：伊勢市で指導された朴先生が（検討会に）いらっしゃるのはいいことだと思うが、その中で松阪らしさをどう出していくかを皆さんで考えて欲しい。櫛田のまちづくり協議会でマイバッグ持参・ゴミ減量削減の会を 7 月中に立ち上げるなど、地域の中でも運動が行われている。小学生など小さい子どもは、わかりやすく話せばすぐ実行してくれる。

会長：その他に何も無ければ、今日はこの辺で。ありがとうございました。